

**わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会
第16回競技運営専門委員会 議事録（概要）**

1 日 時

令和6年（2024年）2月15日（木） 13時30分～15時25分

2 場 所

滋賀県大津合同庁舎7階 7-A会議室

3 出席者

（1）委員（五十音順、敬称略）

伊勢坊 美喜、浮田 豊史、岡本 直輝、加藤 加織、坂下 和子、澤 弘宣、菅原 万智子、辻 和美、富永 寛隆、中村 傳一郎、森 寛、八木 佐知男、吉田 和弘（委員13名全員出席）

（2）事務局

石野事務局次長他13名

4 配布資料

別添のとおり

5 会議概要

■ 審議事項（1）

わた SHIGA 輝く国スポ 大会実施要項総則（案）

※ 事務局より説明 → 原案どおり承認

【質 疑】

<委員長>

10 ページの 19. 国スポの取組(1)～(3)については、市町とも情報共有して取り組もうとしているということか。

<事務局>

19. については、滋賀県の大会で目指すところを記載している。環境に配慮した大会やおもてなし、誰もが主役として輝ける取組の推進については、これまでも市町とも情報を共有しているところであるが、ここに記載していることも含めて、更に連携しながら進めていけるように努めてまいりたい。

■ 審議事項（2）

わた SHIGA 輝く国スポ 正式競技 競技会会期変更（案）

※ 事務局より説明 → 原案どおり承認

【質 疑】

なし

■ 審議事項（3）

わた SHIGA 輝く国スポ 競技会役員編成基準（案）

※ 事務局より説明 → 原案どおり承認

【質 疑】

<委員長>

バレーボールとかバスケットボールとか、会場が市町をまたいでいる場合は会長、委員長はそれぞれの市町に置かれることになるのか。

<事務局>

先催県の例だと、各市町の市長や町長が複数名名誉会長職になっている。

<委員長>

会長、副会長は、例えば開催地の場合、大津市と草津市両方に置かれ、会長が2人いるということか。

<事務局>

会長については、中央競技団体会長の1名。

資料の表を縦に見ていただくと、例えば、会場市町の欄で名誉会長は市町長とあり、副会長は実行委員会事務局長となっているので、各会場市町実行委員会事務局長が副会長職ということになる。

<委員長>

副会長が複数おられるという理解でよいか。

<事務局>

そうである。

例えば、複数市町で3会場にまたがる場合、会長は中央競技団体会長の1人であるが、副会長はそれぞれの会場におられるイメージである。

<委 員>

例えば、同じ人が役職を兼ねていて何度も名前が挙がる人がおられると思うが、その場合、名寄せができるのであればした方が良くと思うがどうか。

<事務局>

競技役員編成については、実際は各競技団体の考え方に依るので、我々からは言いつらい面がある。

<委 員>

競技団体に対して、これだけの名簿が挙がってきたとして事前に提示され、その中で我々が判断してもよいのか。

<事務局>

競技団体が主でやっていただいて結構かと思う。

■ 審議事項（４）

わた SHIGA 輝く国スポ 自衛隊協力要請計画書（案）
※ 事務局より説明 → 原案どおり承認

【質 疑】

なし

■ 報告事項（１）

わた SHIGA 輝く国スポ 正式競技 競技会場名の変更について
※ 事務局より説明

■ 報告事項（２）

わた SHIGA 輝く国スポ 公開競技 競技会場変更（案）について
※ 事務局より説明

■ 報告事項（３）

わた SHIGA 輝く国スポ デモンストレーションスポーツ 実施競技選択および会場
地市第五次内定（案）について
※ 事務局より説明

■ 報告事項（４）

わた SHIGA 輝く国スポ デモンストレーションスポーツ 実施競技名、主管団体名
の変更について
※ 事務局より説明

【質 疑】

なし

■ 報告事項（５）

わた SHIGA 輝く国スポ 競技別リハーサル大会の変更・追加について
※ 事務局より説明

【質 疑】

<委員長>

プール完成の遅れにより、飛込のリハーサル大会ができないと聞いているが、大丈夫か。

<委 員>

プールの完成が遅れたので、予定していたリハーサル大会ができないことになった。しかし、プール完成後に日本選手権とジュニアオリンピックの全国大会を開催することで、会場のリハーサル大会に十分匹敵するような経験や運営ができると思っている。ただ、日本選手権やジュニアオリンピックは本番以上の規模になり、リハーサル大会の名称は使えないので、このままりハーサル大会は無しの状態で、この二つの大会をリハーサル大会の代替えとしてやっていきたいと思っている。

<委員長>

選手控室について、体育館は遠いがどのように考えているのか。

<委員>

草津市からは、当初は駐車場に仮設の控室を作ると聞いていたが、今般、予算上の都合でできないと言われた。代わりに少し離れたところで、体育館をリハーサル大会の控室としたいという提案が草津市よりあった。なかなか厳しいところはあるが、体育館とプールを結ぶ動線をどうするかという話のなかで、シャトルバスを運行するという提案があった。そのようなことを中央競技団体と話をしながら詰めていきたいと思っている。

そうすると、プールの中にも控室を作らなければならないということになるので、観客席の一部が狭くなったりとか、当初予定していた諸室が使えなくなったりすることがでてくるので、そのようなところも十分に考慮して検討していきたいと思っている。まだプールが完成していないので、図面上の㎡数だけではなく、実際に見てみないとどれだけの人が入れるのかが中々つかめきれない。プール完成後にそのあたりのことを上位団体とも協議しながらやっていきたいと思っている。

<委員長>

やはり選手の動線についてリハーサル大会を含めて考えていかなければならない。体育館とプールの距離は300mくらいか。

<委員>

実に中途半端な距離で、シャトルバスの運行と言われても、シャトルバスに乗っているよりも歩いて行ってしまおうほうが早いと言う選手もいると思われる。また、体調面を考え、炎天下を300m歩いて大きな道を渡ることを考えると、たとえ時間がかかってもバスに乗るほうがよいと言う選手もいると思われる。その辺のことが我々もつかみきれないところがある。シャトルバスをプールのどこに着けるのかという問題もあるので、その点も含めて、プールができてから実際に動かしてみたいと検証していかなければいけないと考えている。リハーサル大会でそのあたりことがどこまでできるかわからないが、リハーサル大会は全国国公立大学選手権なので学生の協力を得てきたらよいと思っているので、協議してやっていきたいと思っている。

<委員>

議題とは違うが、リハ大会の役員について、中学校の教員に役員の依頼が届いているが、中体連の大会と被っていたりするので、取り扱いをどうしたらよいかという相談があった。設置者や学校長に対して理解を得られるような対応はこれまでされているのか。また、中体連として、そのようなことについて学校、教員から質問があったときにどう回答すればよいかアドバイスをいただきたい。

<事務局>

教員については役員として、生徒は補助員として出ていただきたいと中学校校長会で説明をさせていただいている。個別の競技については、各市町や競技団体が説明に伺うことになっている。中体連の大会と重なるということになると、別の協議が必要になるかもしれない。今、各市町へ各中学校にも回ってもらうよう依頼しているとこ

るので、校長先生と個別に協議いただいて、学校の判断を明示していただけたらと思う。

<委員>

競技役員について、サッカーの場合、リハ大会初日は8会場となる。役員を20名以上配置しようと思っており、単純計算で160名以上を配置しなければならない。県には、早い段階で高校教員の取り扱いについては職務であるという回答をもらっていた。市町と話を進めていく中で、土日を含めての職務なのか。職務の場合は、日当謝金、旅費が発生することについては、県でも市町でもその様な予算は見えていないということで、競技団体へ丸投げとなっている。そうすると、どこが負担をするのか。それから、高校の教員だけを役員派遣としてお願いする場合と補助員を引率する場合があるので、この違いについても混乱している状態である。そこが詰まらないかぎり補助員も頼みにいけない状況である。

それとは別に補助員は、会場の近くの学校にお願いしようということであるが、サッカー競技の場合、水口スポーツの森もある。水口高校の校長先生から、水口高校の生徒に守山市の会場へ行くよう依頼があったとも聞いているが、私の方で守山市、大津市、東近江市の近隣の学校をリストアップして、市町と調整していこうと思っている。

そこで、最初に話をした、お金の部分のつじつまが合わない。もしサッカー協会が負担するならサッカー協会の旅費規程になるが、その旅費規定によってやってもよいのか。160名以上と言ったが、高校教員だけでは回らないので中学校へもお願いすることになるが、その場合、所管が市町教育委員会となり、そのすり合わせもわからない。ここが一番競技団体として頭を抱えているところである。その辺の統一的な見解とお金の出どころの一本化をお願いしたい。先催県によると一律的に旅費、謝金を払っている県もあるし、個別に旅費計算されているところもある。後々の支払いが煩雑にならないように、振り込みではなく、現地で支給してサインをもらうやり方が一番であると思っているが、その辺も含めて非常に困っているのでご検討願いたい。

<事務局>

難しい問題であるが、まず、職務に位置付けているかということとそのとおりである。土日に学校の先生に職務として行っていただくことをどう取り扱うかについては、整理できていないので、もう一度しっかり整理したいと思っている。また、支払いについては、学校の出張命令で行く場合は、当然支払いは学校となるが、今回は競技会として競技団体の依頼により行く性質上、学校からの出張ではなくて、依頼をして一定の旅費を競技団体から出していただいて、それを県等から一定補助するのが通常かと思うが、今、即答できる状況ではないので、もう一度検討させていただきたい。

中学校については、市町教育委員会なので、県からは学校教育の一環であるという形でお伝えし、市町教育委員会でもそれぞれ同じように定めていただきたいと言っている。これについてそれぞれのとりまとめができていないので、そこはもう一度確認し、同じようにしていただかないといろいろ競技運営に支障が生じる恐れがあるので、しっかりと説明してお願いするようにしたいと思っている。

委員よりお話のあったサッカー競技で水口高校より守山へ補助員で行っていただくことについては、効率が悪いが、守山市からの依頼を受けて頼みにいっているものである。そこはもう一度確認をする。

<委員>

市町からは、当該の学校へ頼みに行くように聞いているが、今のところが整理できないと頼みにも行きにくい。競技団体としては、近隣の各高校に振り分けをしてほしい旨をお願いしにしようと思っている。これは競技補助員のことであるが、他に競技会補助員があるが、それは誰が引率して、どこが依頼に行くのか。大変混同しており、取次がうまくいってなくて、2月中にとか言われると調整もできない。今から高校は入試前に入るので、そのあたりを整理していただければと思う。

<事務局>

引率のことに絞って話をすると、競技補助員、競技会補助員など、学校の生徒の手助けがなければおそらくできないと思っているが、例えば、学校の生徒に行ってもらおうとするために、先生が引率するとなると学校に先生がいなくなってしまうという問題が生じる。それをどう整理するかは、今まさにやっているところである。委員がおっしゃるとおり、その整理ができていない中で依頼されても困るというのは、学校側も同じようにあると思うので、また、それが2月中にまとまるかということ、それも難しい状況にあると思う。2月中にというのは、おそらく市町から出ていると思われるが、未だ整理ができていない状況であるということは、市町に伝えた上で、整理ができていない中で、競技団体にはどのようにお願いしてもらえば良いか整理をしたうえで、メールにてお伝えする形にできればと思う。

<委員>

今のお話は国スポだけではなく障スポ大会も同様に、学校の先生や特別支援学校の先生が競技団体の競技役員として出役していただくなり、会場に応援に来る学校の生徒さんもいると思うので、国スポ・障スポ併せて一緒に考えていただけるとありがたい。また、国スポとは市町の役割が違ってややこしい面もあるかと思うが、ご協力いただくのは学校の先生で同じだと思うので、服務等の対応については国スポも障スポも同じように対応いただけるとありがたいので、よろしくお願ひしたい。

<事務局>

障スポのリハーサル大会は当年度になるが、今年度も夏に各高校を訪問して、国スポと併せてお願いしている。国スポと同じような扱いできっちりしていきたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

<委員長>

リハーサル大会の場所が学校になるとトイレの問題がある。滋賀県の場合、体育館等のスポーツ施設のトイレが不十分であると思う。このあたりのことはどのように対応するのか。また、障スポの場合、やはり障害者用トイレも課題として出てくると思う。

また、各競技団体のところで、学連の組織が競技団体の中であるようで無い。あってもしっかり動いていないように思う。今回かなり学連が入ってきてくれることは

非常にありがたいことだと思う。

競技団体だけをお願いするというのではなくて、県全体として協力いただけるよう学連のところにも、大会が終わってからも協力に対する感謝メッセージを流していく必要があるのではないかと思います。彼らはお金が欲しいとは言わないと思う。学連組織は自分たちで大会を運営するノウハウを持っていると思うので、その力を活用する。大会が終わっても、その後もいろいろつながりはでてくると思うので、丁寧に扱っていただけたらと思う。

■ 報告事項（6）

わた SHIGA 輝く国スポ 練習会場の変更について

※ 事務局より説明

【質 疑】

<委 員>

大津高校は強化拠点校となっており、用具とかもあり施設面でも整っていることから、少し距離はあるが変更となっている。

■ 報告事項（7）

令和5年度第3回国民スポーツ大会委員会での決定事項について

※ 事務局より説明

【質 疑】

なし

■ 報告事項（8）

「燃ゆる感動かごしま国体」競技運営に係る報告について

※ 事務局より説明

【全体を通して】

<委 員>

2点質問したい。まず、映像の問題について、映像と結果速報は別物と考えてよいか。

<事務局>

映像をそのまま配信するということは、国スポチャンネル以外は難しいということ。結果をLINEとか様々なツールを使ってテキストで配信することは問題ないと考えている。

<委 員>

電光掲示板を映像で映すのを配信することはどうか。

<事務局>

競技会の試合でなければ、それはかまわないのではないかと思います。そこは一度確

認させていただきたい。例えば、サッカーで1対1が2対1になって、2対2になるのを一つ一つ取り込んで配信しようとする手間がかかるので、ずっと電光掲示板の映像を映し続けておけば、結果の情報が流れるということか。

<委員>

そういうこと。それが映像になるのか、テキストになるのかという話である。

<事務局>

確認する。

<委員>

もう一点は、栃木では入場制限があったが、コロナが5類になって鹿児島では、水泳競技は、入場制限ではないが完全事前申し込み制の入場となった。そうしたら何が起こったかという、会場に入れなかった人たちが会場に来なくなった。コロナ前の会場は会場に行けば何とか見ることができたり、選手を見ることができたりということで、いつも順番待ちの行列ができ、非常に賑わっていた。会場に来られる人が少なくなったことで、当選して見に来られる人にとっては、ゆったり見られるようになったことは良いと思うが、賑わいが非常に少なくなったことを考えると、果たしてそれでよいのかと鹿児島を見て疑問に思った。それで、どういう方法が良いのかわからないが、このまま、鹿児島と同じでは、当選して来られない人が出てきた時に会場に空きが出てくる。そうではなくて、会場に来たら何とかなるというようなことも取り入れて観客の誘導をしてもらえる方法を考えてもらった方が良いのではないかと、鹿児島で感じたことであるので、よろしくお願したい。

<事務局>

非常に難しい課題かと思うが、鹿児島はコロナが5類になって最初であり、様子見のところもあったのではないかと思う。競技によっては結構制限もなく、うまく誘導もされていた会場もあり、会場によって差があったと思う。今後制限もとれてくると思うので、委員が言われるように、できるだけ競技会に足を運んでいただいて、スポーツの良さを楽しんでいただいて、それが滋賀県に根付いていくことが我々のやっている意図であるので、また会場地市町と意見交換をしながら連携してやって参りたい。

<事務局>

一点補足させていただく。国スポチャンネルことであるが、例えば、今、電光掲示板を映しっぱなしにしてもかまわないのかというご質問をいただいたが、例えば、水泳連盟が独自でカメラで映像を撮っておられて、その映像を日本スポーツ協会に繋いで、国スポチャンネルの公式として配信することは、それに対する補助、お金は出せないが可能であるので、そういったこともご検討いただければと思う。

<委員>

結果速報にしても国スポチャンネルにつなげればよいということか。

<事務局>

そういうことにもなるが、結果速報画像をずっと見ているよりも、泳いでいる姿を流す方が当然よいと思うので、そういったことを競技団体が独自でされるというこ

とであれば、県としてもそのつなぎはさせていただく。

<委員>

水泳の映像はNHKが撮っているので、単一ですることは難しいかと。NHKの映像をそのまま電光掲示板に流したりするので、映像は難しいと思う。

<委員長>

学連が学連のホームページ上で映像を流していると思うが。

<委員>

学連も撮っているので、おそらく映像は2重で撮っている。

<事務局>

重ねて申し上げる。例えば、佐賀県は、学生が撮った映像を国スポチャンネルに繋いで国スポチャンネルの公式として放映することをいくつか予定されていると聞いている。そういうことを各競技団体で考えられるのであれば、学生が撮った映像でも国スポチャンネルに繋いで発信するという事は、理論上は可能なので、ご承知いただければと思う。

<委員長>

今お話しいただいたところは、早めに文書等で整理されたほうが、各競技団体も助かると思うので、よろしく願いしたい。

あと、会場でのトラブルについては、私も水泳に行っていて、なぜ入れてくれないのかと喧嘩がおこっていた。会場で小中学生の応援スペースがあり、テープで仕切られて誰も入れなくしてあったが、観客からは小中学生が常時来られないのに、これだけの席を確保してどうするのかと。空いているなら座らせろといったトラブルが出ていた。小中学生の応援は大事であるが、あまりにもリザーブのスペースを取りすぎて、観客が入れないのもいかなものか。その辺は次の佐賀の大会を見に行つて、どれくらいスペースを置けば良いのか検討する必要がある。

<事務局>

水泳は人気競技であることから、事前抽選を慣例的にされているのかと思う。水泳会場を視察した際、飛込の会場がすごく狭かったのも、それを制限するのはわかるが、水球の方はガラガラという状況で mismatch が起こっていたので、空いているのに本当に入りたい人が入れないというようなことをどう解消するか、どうやって抽選してうまくコントロールしていたのか。そのあたり、先催の情報を収集して進めていきたい。

<委員長>

競技速報の発信であるが、競技団体によっては業者を使っているところもある。業者を入れている競技団体と業者に頼っていない団体とでは違いがあるので、そこは個別に結果の公表の仕方を競技別にグルーピングして整理されるのが良いのではないかと思います。

<委員>

記録業務研修についてはあくまで県レベルの話で、競技記録は各競技団体でやるということか。新体操、ボクシングはこのように LINE とかを使つたりして電子配信さ

れている。弓道はアナログの世界でデジタルからほど遠いところにいたが、それを鹿児島、佐賀がやるということで、滋賀もやろうということになった。そこで一点お聞きしたいが、記録を競う競技において、水泳は機械中心でやられているが、そのような中で機械トラブルが実際発生したことはないのか。それと、万一大停電が起こって電源が切れた時の対応はどうなっているのか。我々が新しいことに取り組もうという話をしていると、もしもそうなったらどうするのかと後ろ向きの発言ばかりが出てきてしまう。陸上でも水泳でもすでにされていることから、当然消えた場合の何らかの対策は考えておられるはずである。今は全てリアルタイムでどういう状況かについて、映像は見られなくても、結果くらいはすぐに配信できるようにやっていかないとと思っている。トラブルがあったらどうするのかという話ばかり出るので、その辺何かあれば聞かせていただき、それを前提に何とか進めていきたいと思っているのでお願いしたい。

<委員>

陸上は補助電源のバックアップがある。とりあえずは、写真判定が動けばよいが、ちょっとした電力でもつので、補助電源で対応している。

<委員>

水泳はシステムであるとか、計測機器とか、コンピューターはバッテリーで動いており、全てのものについてバックアップを用意しているので、ほぼすぐにできるような状態は保っている状況である。

<委員>

常にバッテリーは大会になると用意されているということか。

<委員>

バッテリーは常に大会前日にすべて予備バッテリーも含めて 100%充電した状態で準備して大会運営している。後は乾電池で、ピストルとか、スピーカーも乾電池でいけるスピーカーをバックアップとして用意してあるので、何かあってもそれで行けるようにしている。

<委員>

障スポについて少し。鹿児島の障スポ大会に競技団体から競技役員として入っていただいたことや視察にも来ていただいたことについては感謝している。今年の佐賀大会は運営等の視察の機会が最後となるので、できれば、正式競技の競技団体の皆さんには、競技役員として視察に入っていていただいて、佐賀の競技役員の方と一緒に運営をやっていただくと、記録の流れやルールが国スポと若干違うので、その違いがわかりやすいのではないかと思います。実際、鹿児島では水泳の競技役員として滋賀県水泳連盟の方が競技運営に入っておられた。鹿児島県だけでなく先催県の競技役員の方々もたくさん運営に関わっておられ、どのように運営しているのかがよくわかったという意見も聞いているので、ぜひ、佐賀の障スポ大会においては、正式競技の競技役員として競技運営に入って視察をしていただけるとありがたいというお願いである。

また、障スポのリハーサル大会は令和7年になるが、団体競技のリハーサル大会は、その年の滋賀大会に出場する近畿の代表を決める近畿予選会がリハーサル大会とな

る。については、今年の近畿大会が、視察できるラストの大会となるので、近畿大会の日程照会の問い合わせが競技団体からいくつもある。団体競技のリハーサル大会の視察が必要であれば、今年の5月～6月に行われる近畿大会が最終の視察の機会になるので、そのあたりも競技団体に伝えていただければと思う。

最後に情報提供である。日本パラスポーツ協会が、障スポ大会に特化した競技ルールや運営方法など開催県の競技役員に知っていただき、障スポ大会のスムーズな競技運営を総合的に支援するため、競技別技術委員の派遣事業を行っている。これを利用して、今年、陸上の研修会を滋賀県パラスポーツ指導者協議会で実施する予定で、同協議会から講師の派遣を依頼したところ、通常この事業は、障スポ大会主催の県からの依頼によって技術委員を派遣していると言われた。滋賀県からは今のところ依頼は無いらしいので、できれば来年度、県から日本パラスポーツ協会へ講師派遣の依頼をしていただいて、必要とされる競技団体があれば、障スポ大会に特化した競技ルールや運営方法など研修会を開いていただけるとありがたいので、よろしく願いたい。

<事務局>

まず一点目の役員にしっかり入っていただきたいということは、県からも願っていたと思っています。県としては役員養成事業の補助金制度を設けており、そういう部分も補助対象になってくると思うので、積極的に活用していただきたい。我々は運営側となるが、鹿児島大会においても、障スポは県が運営しなければならないということで、佐賀県の職員と一緒にいらさせていただいて、気づくことはたくさんあった。外から見ていただけでなく中に入って気づくことの方が多いというのは委員がおっしゃるとおりであると思うので、ぜひ競技団体も検討いただければ、我々もそれを補助していきたいと思っていますので、またご相談いただければと思う。

それから、講師派遣の件については、各団体が主体でされることについては、これも補助制度があるので、やっていただきたいのと同時に、パラスポーツ協会との話についても、我々も定期的に日本パラスポーツ協会と話をさせていただく機会があるので、その点は県もしっかりお伝えして、検討していきたいと思っています。

<委員>

バレーボール競技の話だが、これは室内競技共通の課題にもなるかと思うが、最近の暑さ対策の必要性に対してエアコン設備がない体育館があり、場合によっては仮設エアコン設備が必要となる。

その仮設経費について大会事務局に打診すると、開催市と設置に関する協議をして欲しいとのことで、何度となく相談協議をしたが、前向きに検討しても経費予算の関係で約束は出来ないとのことである。

天候のことなので実際その時になってみないとわからないが「熱中症対策」における必要事項として仮設費用の補助については是非検討していただきたいと要望しておきたい。

<委員>

高体連としても何とか国スポ・障スポを成功させたいとの思いでいる。特に大会運

営の役員は、多くの高校教員が関わる可能性があるので、毎回、理事会、評議員会どちらでも先生方に協力依頼をさせていただいているところ。先だって、大会局からの当該年度の秋季高校総体を後ろにずらしてほしいとの申し出に対し、きっちり対応させていただいた。これも、何とか成功させたいとの思いから取り組んだところ。その中でお願いというか、一緒に考えないといけないことかもしれないが、成功させたいという教員の思いも非常に感じるので、少し発言させていただく。

一点目は、先生方および生徒が、迷いなく国スポ・障スポに協力できるようにしてあげていただきたい。具体的に言うと、専門の競技役員を担う先生が堂々と役員に出られるようにしていただきたい。引率の先生も、生徒も同様。先生方が職務で行くことにしていただいているため、当然、正規の出張であるが、先生方は授業を他の先生に代わっていただき、役員に出ていくことになる。そのため、役員に行った先生は、その授業を後でしなければならない。そうすると、職務で出ているので、振休を取ればいいのではないかという考えが出るが、授業が遅れるから取れない。そうすると、その時の教員の服務や勤務状況をどう考えるかについて、知事部局の方から何か対策を考えていただけることがあればありがたい。また、そのような先生方特有の事情もご理解いただきたいところである。

二点目は、それに伴って、待遇をしっかりしていただきたい。お金ではなく、環境的な待遇である。国スポに協力しているのは素晴らしい事だという状況にしてほしい。旅費については、出張依頼文等が県または市から出てくると思うし、そちらの旅費計算に基づくと思うが、自分の生徒が直接関係のない大会に役員として出るための待遇である。実際にリハーサル大会の役員でも、自分に生徒がいるのであれば堂々と出られるが、そうではなく、社会人の大会に審判で出る場合など生徒が関係しない大会には、いくら派遣依頼が来ているとはいえ、出にくい。自分のチームの生徒を置いていくので、周囲の目もとても気になる。

そういった事情を踏まえ、ぜひ何かいい形にしていただきたい。迷いなく、堂々と国スポ・障スポの審判であり、補助員として出られるような環境に整理していただきたい。こういうことができるのは、国スポ・障スポ大会局の方々だと思う。成功のためという意味で、どうぞよろしくお願ひしたい。

<委 員>

先ほどの回答を待っていると準備が間に合わない状況なので、できるだけ早く回答を示していただきたい。付け加えて、会場周辺校で物理的に高校生が足りない場合、関係外市町、つまりサッカー競技市ではない市町の高校の教員にも要請ができるのかということについて、私立学校も含めて回答いただきたい。それを踏まえてどこがどう支払うかということを確認してほしい。競技団体独自とか市町独自で判断するというようなことは、避けていただきたい。そして、県として統一的なもので皆さんが動けるようにしていただけると大変助かる。

<委 員>

先ほど教員も胸を張ってというお話があつて、それも大事なことである。もう一つは現場である。一ヶ月近くも体育館が使えない、体育の授業どうしようかということ

になる。実際に天気ならグラウンドで授業はできるが、雨が降った時に、どう授業の保証をするのか。今、教員が実際にぶち当たる問題として、きちっと対策をたてて、子どもにちゃんとした授業ができるようにしていかなければならないということを考えている最中だと思う。これが何とか県としても体育館が使えないなら、丸投げではなくて、代替えのこういうところでこういう授業ができるだろうくらいの提示を。例えば、運動場とかあれば、そういったところでできるような授業の方向性のようなことも言っていただいて、用意していただくとありがたいというのが現状である。もう一つは、私も長年監督とかの立場でいろいろ行かせてもらった立場から、柔道については、僻地開催が多くて、滋賀では木之本が競技会場となるが、本部が長浜なので、シャトルバス等の運行が頻繁でなければ選手にストレスを与えるのではないかとということがひとつある。柔道の運営側としてのご願いとして、宿舎がおそらく長浜近辺になると思うが、選手に負担をかけないとか、監督、コーチ、選手を連れていく方にも負担をかけないような運営の方法を考えていただけたらありがたい。これは私たちの経験から、滋賀の場合はそういうことがないようにしていただければありがたい。

<委員長>

私のところの学生で、会期前のローイング、水泳に行った学生たちが、盛り上がりが全然なくて、駅に降りても国体をやっているのかという状況だったと言っていた。要するに陸上競技場の開会式が国体ではないと思うので、もっと、街全体、県全体を盛り上げるような仕込みが必要だというのが、今回視察に行って私も感じたところである。その時にJRとどのように連携をとるのか。市町がJRとうまく連携がとれるのかということである。盛り上げるうえで交通手段のところといかに連携をとるかということ。これは課題と思われるので、これはまた別の部局になるかと思うが、是非ご検討していただけたらと思う。

最後に、これまで我々はどうしてもgiveするところをよく考えるが、例えば、参加する、支援する側として何をtakeするのかとか、あるいは、市町が一生懸命汗をかいてやっているが、市町にとってtakeするのは何なのか。これだけ汗をかいて、しんどかったということだけではなくて、市町がこれだけ潤ったとか、市町がこれだけ発展したとか、全国にこの市町の名前を発信したとか、知ってもらったとか、この辺が市町の喜びでもあるかと思うが、この辺はどの部局が担当するのかがよくわからないが、give&takeで、やはり得るものは何なのかについて議論していただけたらと思う。今回視察に行って物凄く感じたところであり、この件よろしく願いしたい。

以 上